

**【事務事業調査】**

事務事業名	小中学校文化スポーツ奨励事業費			予算科目コード	会計-款-項-目-事業 001-10-01-02-003-02-05-0
担当部課	教育部 こどもみらい課	担当係長	学校教育担当 福田 和則	事業の分類	既存事業

**■事務事業の概要**

	何をどのような方法で実施します(実施しました)か？	どのような成果が現れます(現れました)か？
計画	<p>H22 事後評価</p> <p>栃木県を代表して関東・全国大会へ出場した個人・団体の方、合計22件に対し助成を行いました。 近年、助成額が増加しています。町財政が逼迫する中、予算額を増額することは困難なため、現予算の範囲内で広く対象者に助成ができるように平成24年度以降は、実費負担額の2分の1を助成額とします。</p> <p>H24 事前評価</p> <p>小中学生が栃木県を代表して関東・全国大会へ出場する場合、遠征にかかる費用の一部(交通費・宿泊費)を助成します。</p>	<p>小中学生が全国大会出場等の高い目標をもち、学校・地域が丸となってスポーツに取り組むことにより、子どもの体と心に対する教育の振興が図られます。また、遠征にかかる費用の一部を助成することで、保護者の経済的負担を軽減することができます。</p>
実績		

**■活動指標**

指標	目標値	達成値	特記事項
申請件数	10件		

**■事業費(計画)**

【単位:千円】

細 節	金 額	積 算 根 拠
1 交付金	2,000	文化スポーツ奨励費交付金(個人・団体)
2		
3		
4		
5		
	2,000	

**■事業費(実績)**

【単位:円】

細 節	金 額	特 記 事 項
1		
2		
8		
9		
10		
	0	

**■事業経費**

		計 画 【千円】	実 績 【円】	特 記 事 項
予 算	当初予算額	2,000		
	補正予算額			
	流用額			
	予算現額			
決 算	決算額			
財 源	国庫支出金			
	県支出金			
	地方債			
	受益者負担金			
	その他の特定財源			
	計	0		
	差引(一般財源)	2,000		

■補助金等名:町小中学校文化スポーツ奨励費交付金

■補助事業者等:申請者(関東大会以上の大会出場者等)

★自己評価基準

- (1)とてもよくあてはまる:5点
- (2)あてはまる:4点
- (3)どちらかというにあてはまる:3点
- (4)どちらかというにあてはまらない:1点
- (5)あてはまらない:0点

★総合評価基準

- (1)継続:総得点が35点以上
- (2)見直し:総得点が35点未満

補助金等交付基準		自己評価	評価に関するコメント	
1	公益性	■受益が不特定多数の町民に広く及ぶものであり、特定の個人や団体のみが利益を受ける事業でない。	3	関東大会以上の大会に出場した児童生徒のみに限定されるが、さらにハイクラスな大会に出場できるための良いきっかけとなっているため、今後の町の文化・スポーツの振興に期待できる。
		■町全体に波及効果が期待できる。		
2	必要性	■地域経営計画に即し政策的に奨励する事業であり、町民のニーズに即している。	3	児童生徒がさらに文化・スポーツに希望を持つためのきっかけづくりであり「文化・芸術の振興」「生涯スポーツの推進」に適合している。 技術を高める意識を持たせ、ハイクラスを目指そうと いく発展性が見られる。
		■社会動向を展望し、先見性・発展性がある。	5	
3	公平性	■民間、NPO、ボランティア等、既存団体等の活動を阻害しない。	5	公平かつ均等である。
		■町民のサービス受益機会が均等である。	5	
4	効果性	■事業効果が明確かつ具体的である。	5	さらにハイクラスを目指そうという意識を向上させると いう効果は明確である。 なお、予算の積算は適正に予想できないため概算 である。
		■予算の見積が適正である。	3	
5	適格性	■実施体制が明確である。	4	各種大会に出場した児童生徒のみに係る交付要綱 に明記した経費を交付している。
		■自主・自立の傾向が明白で、将来計画がある。	0	
合計点数		37		
総合評価		継続		